

# 達成状況評価書(平成26年度)

部局名:レーザーエネルギー学研究センター

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成26年度は、センターの装置を用いた11件の国際共同実験すべてに学生を参加させ(88名参加)、世界トップクラスの研究者との研究交流を通じて、国際性とコミュニケーション力をつけ、世界的な研究成果を上げる教育環境を提供するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成26年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成26年度は、計画課題型共同研究5課題並びに自由課題型共同研究として160件の共同研究を実施しており、レーザー宇宙プラズマ物理研究においては、センターの研究者が研究代表者となって米国立点火施設での実験を進めており、その成果がネイチャー・フィジックス誌に掲載されるとともに、新聞で多数報道されるなど成果が上がっている。また、テラヘルツ分野の開拓に世界的に貢献し、高い評価を得ており、同分野における世界トップレベル研究者の相互引用において、センターの研究者が第1位、第3位を占めるなど、成果が上がっている。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成26年度は、経済産業省の助成を受け、民間企業との間で共同研究を実施し、センターで開発されたレーザーテラヘルツエミッション顕微鏡を用いた太陽電池評価装置の実証機開発を行っており、成果が新聞等で多数報道されるなど、成果が上がっている。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 18~30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成26年度は、前年度行ったESCO事業による空調熱源の更新を受けて、さらなる節電のための運転モードの最適化を図ったほか、大型計算機の更新を機に、サイバーメディアセンターと協力して、空調効率を高めるために設置場所をサイバーメディアセンターITコア棟に集約させるなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】</p> <p>中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成26年度は、国際共同実験への学生の参加、160件の共同研究実施と新聞等による研究成果の報道、経済産業省の助成による共同研究の実施、更なる節電に向けた取組など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>